

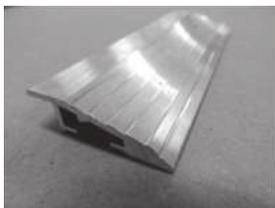
設置説明書

マットスイッチ用目地枠

1 目地枠の構成部品

構成部品

構成部品は、マットスイッチの形状により異なります。



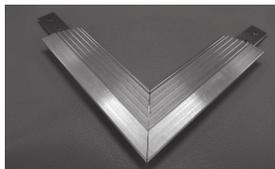
AE-25 / AE-35
ストレート目地枠
穴あけ加工はオプションです。



AE-25C / AE-35C
コーナー用目地枠



AE-25L / AE-35L
リード線/アース線出口コーナー用目地枠
引き出し口は2方向にあります。設置上、使いやすい方向を使用してください。



AE-25 / AE-35
逆コーナー用目地枠
マットスイッチの配置上、逆コーナーがある場合に使用します。



I 金具
2つの目地枠を連結する場合に使用します。



ワッシャー (外径19mm)
ストレート目地枠、または逆コーナー目地枠に穴あけ加工を施した場合に使用します。

2 目地枠の組み立て準備

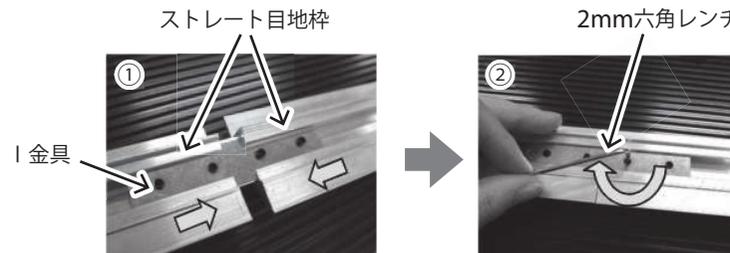
次のような場合は、目地枠を組み立てる前に準備してください。

●1辺が2メートルを超える長いマットの場合/逆コーナー用目地枠を使用する場合

1辺が2メートルを超える長いマットの場合は、ストレート目地枠が分割されています。また、マットスイッチの形状により逆コーナー目地枠を使用します。

これらの場合は、I金具でストレート目地枠と接続してください。

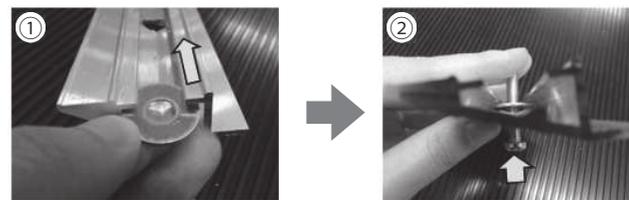
- ① 接続する目地枠中心になるようにI金具を挿入する。
- ② 裏側から2mm六角レンチで、六角穴付き止めねじを固定する。



●ストレート目地枠の固定穴*にワッシャー*を通す場合

*穴加工/ワッシャーはオプションです。

- ① ストレート目地枠にワッシャーを通し、固定穴の位置まで移動させる。
- ② ストレート目地枠の表側からボルトをワッシャーに通す。
- ③ ストレート目地枠を仮置きし、市販の固定ボルトを締めて目地枠を床面に固定する。

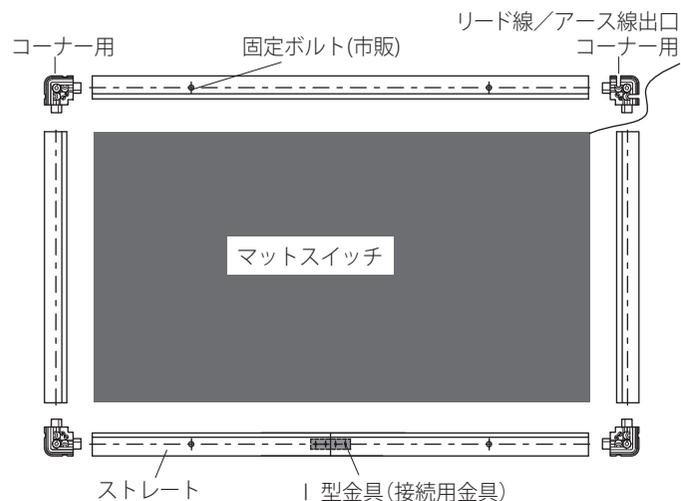


●目地枠に固定用の穴を開ける場合

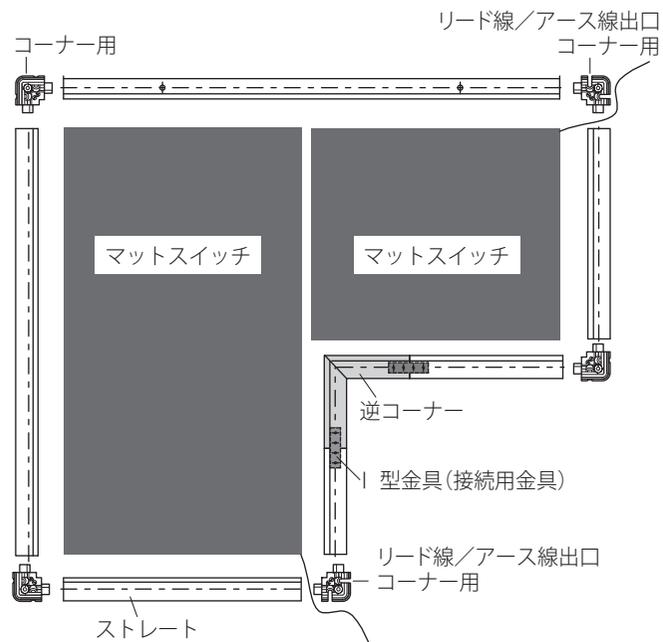
ストレート目地枠の固定用の穴間隔は、500mmを推奨します。

3 目地枠の組み立て

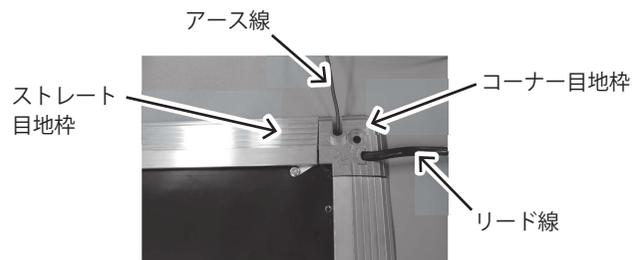
仮置き例 1：四角のマットスイッチの場合



仮置き例 2：逆コーナー目地枠を使用する場合



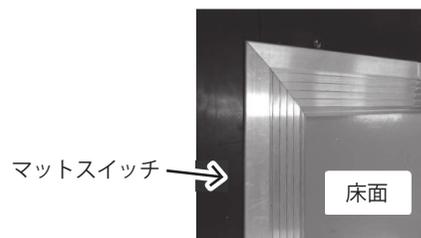
- 1 マットスイッチを、設置予定場所へ仮置きする。
- 2 仮置きしたマットスイッチの外周に、目地枠を並べる。(仮置き例参照)
- 3 ストレート目地枠にコーナー目地枠を差込んで接続する。



リード線が出ているコーナーには、リード線/アース線出口コーナー用目地枠を使用してください。

本質安全防爆構造マットスイッチをご購入いただいた場合
リード線とアース線を、同一のコーナー用目地枠のコード出口から外に出してください。

- 4 マットスイッチの形状により逆コーナー目地枠を使用する場合は、次のように接続する。(仮置き例2の場合)



- 5 アンカー穴と各目地枠の固定穴の位置が合っていることを確認し、市販の固定ボルトを締めて目地枠を床面に固定する。



推奨固定ボルト径：M6

コーナー目地枠の固定穴：各1か所×4

その他の目地枠の固定穴：固定穴を追加した場合、ワッシャーを（ワッシャーとセットで組み合わせ、固定ボルト（お客様にてオプション）で固定します。目地枠の組み立て準備の「ストレート目地枠の固定穴にワッシャーを通す場合」をご覧ください。

IDEC株式会社 <http://www.idec.com/>

本社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-64

取扱説明書にご不明な点がございましたら、下記の製品問合せ窓口へお問い合わせください。

【技術問合せ窓口】

TEL：0120-992-336

携帯電話・PHSの場合：050-8882-5843（通話料がかかります）

<受付時間> 9:00～12:00, 13:00～17:00

（土・日曜、祝日および弊社休日を除く）